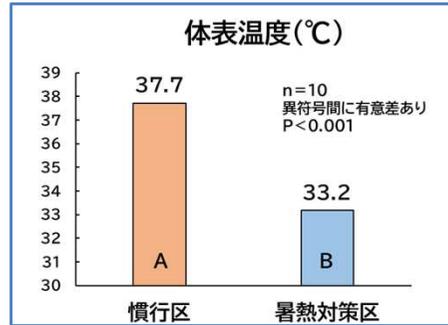
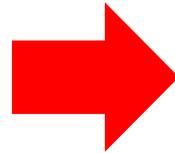


背景

暑熱ストレス



豚の肉質・生産性が悪化
アニマルウェルフェア上問題



令和3~4年度に
ビニールハウス豚舎にて
ミスト送風等による
暑熱ストレスの緩和を確認

目的

暑熱ストレス軽減対策

+

飼料添加



肉質及び生産性の改善

研究内容

1年目・2年目

暑熱期における
ヒスチジン及びγ-アミノ酪酸 (GABA) の
飼料添加による豚肉の高付加価値化の検討

脂肪酸カルシウムの
飼料添加による豚の生産性向上技術の検討

ヒスチジン:

- ・ 必須アミノ酸
- ・ 抗疲労作用のあるカルノシンを合成

GABA:

- ・ 神経伝達物質
- ・ ストレス緩和
- ・ 血圧降下による放熱促進

3年目

ヒスチジン
GABA
脂肪酸カルシウム
組み合わせ効果の検証

の

- ・ センター内試験
- ・ 農家実証

脂肪酸カルシウム:

- ・ 飼料エネルギー含量向上
- ・ 機能性脂肪酸付加による高付加価値畜産物の生産

期待される効果

快適環境の維持と飼料資材の効果的利用



肥育豚の生産性を向上

年間を通じた安定的な出荷

特色のある豚肉による差別化



県内養豚農家の所得向上

